

ハリケーン対策特集・安全情報発信 ▶大規模災害への備え

テキサス州において想定される大規模災害の一つにハリケーンがあります。ハリケーン・シーズンは毎年6月から11月までの6か月間ですが、テキサス州沿岸部へのハリケーン到来は8月から9月が最も多いとされています。昨年9月に発生したハリケーン・イアンは、フロリダなどに壊滅的な被害をもたらしました。また、2017年8月には、ハリケーン・ハービーが上陸し、ヒューストンを含むテキサス州沿岸部に甚大な被害を残しました。

ハリケーン対策については、日頃からの準備がとて重要で重要です。ハリケーンによる停電・断水に備え、備蓄品や防災用品を用意しておきましょう。また、あらかじめ避難ルートや避難場所を決めておきましょう。ハリケーンが近づき、注意報や警報が出たら、正確な情報を収集しつつ、当局の指示に従うとともに、必要な場合には、早めに避難してください。

ハリケーンが近づく際には、在留届の情報を基に、領事メールを通じ、皆さんに注意喚起をさせていただくほか、大規模な被害が発生した際には、安否確認のご連絡をする場合があります。3か月以上滞在される方

は、在留届を提出いただくとともに、住所、連絡先のアップデートをお願いします。

[在ヒューストン日本総領事館のウェブサイト](#)でもハリケーン対策マニュアルや情報収集のための関係機関へのリンクなどを掲載しておりますので、一度ご確認ください。

そのほか、災害への準備については、[ヒューストン市緊急対策室のウェブサイト](#)も参考になります。職場などでも、ハリケーン発生時のマニュアルや安否確認のためのリストの再点検をお願いします。(総領事館)

ハリケーン対策グッズ・リスト(例)

ハリケーン対策の一環として準備しておくよい防災グッズの一例をご紹介します。ご家族の状況に応じて、以下のグッズ・リスト例をご参考の上、ハリケーンに備えて事前に準備されることをお勧めします(◎は必需品、○は可能であれば準備をお勧めするもの、△はあると便利というものです)。

	トロピカル・ストーム以上の熱帯低気圧 (ハリケーンを含む)	ハリケーン (風速マイル以上) (メジャー・ハリケーンを含む)	メジャー・ハリケーン (風速111マイル以上)
2022年発生数	14	8	2
2023年予測 (コロラド州立大学)	13	6	2
過去平均	14	7	3

項目	留意点等	項目	留意点等
<input type="checkbox"/> ◎飲水	通常一人当たり1日1ガロン14日分を準備。	<input type="checkbox"/> ○現金	カード・ATMが使えない場合あり。できるだけ小額の現金を準備。
<input type="checkbox"/> ◎衛生用水	トイレ、シャワー用。バスタブ等を利用して貯水。	<input type="checkbox"/> ○衛生用品	【例】トイレトーパー、ウエットティッシュ、石鹸、消毒用アルコール、洗剤、生理用品、洗面用品(歯ブラシ、シャンプー、洗顔用品等)、マスク、ふた付きバケツ、ゴミ袋、ビニール袋等
<input type="checkbox"/> ◎食料	保存可能な食料を人数分×14日分以上準備。 【例】パン、各種缶詰(肉、野菜、フルーツ等)、スープ類、ドライフルーツ、ナッツ類、ゼリー、飲物、高カロリー食品、冷蔵を要さない野菜、調味料等、火が不要な保存食	<input type="checkbox"/> ○緊急時の持出キット	食料、飲み物、衛生用品に加えて現金、パスポート等貴重品類等を入れたバック(防水性が望ましい)、救助、急遽退去命令が出された際に携行。
<input type="checkbox"/> ◎懐中電灯	一人1つ準備が望ましい。予備電池を準備。	<input type="checkbox"/> △コンパス	避難時に使用。
<input type="checkbox"/> ◎携帯ラジオ等	携帯テレビも有用。予備電池を準備。	<input type="checkbox"/> △ドライアイス	保存が効き、冷蔵に使用可能。
<input type="checkbox"/> ◎救急医療品	【例】各種サイズの絆創膏、安全ピン、ゴム手袋、ガーゼ、三角巾、包帯、はさみ、ピンセット、針、ウエットティッシュ、消毒剤、体温計等	<input type="checkbox"/> △チューブテント	家が倒壊した場合、避難先等で利用可能。
<input type="checkbox"/> ◎ガソリン	車のガソリンは常時3分の2以上入れておく。	<input type="checkbox"/> △処方箋	必要であれば、避難前に薬局等で処方箋を書いてもらう。
<input type="checkbox"/> ◎携帯電話等	携帯電話、ポータブル式充電器(乾電池式)、ソーラー式充電器	<input type="checkbox"/> △消火器	小型のものが望ましい。
<input type="checkbox"/> ◎重要文書一式	重要文書は直ぐに持ち出せるように準備。 【例】旅券、保険証書、出生・結婚証明書等。	その他 (各ご家庭の事情に応じて)	赤ちゃん用の乳幼児用食品(ミルク等)、おむつ、赤ちゃん用の薬 ペット用の水、食料、ケージ等。
<input type="checkbox"/> ○食器類等	箸、紙皿、紙コップ、プラスチック容器等。	【緊急連絡先】 ご家族の緊急連絡先をご記入ください。	
<input type="checkbox"/> ○調理器具	携帯ガスコンロと燃料、缶切り、ナイフ等。		
<input type="checkbox"/> ○寝具等	寝袋、エアマット、毛布、タオル等。	●在ヒューストン日本国総領事館 TEL: 713-652-2977	
<input type="checkbox"/> ○常備薬	使い慣れた薬(頭痛薬、風邪薬等)		
<input type="checkbox"/> ○マッチ・ロウソク	防水用の缶等で保管すること。		
<input type="checkbox"/> ○各種手袋	軍手、厚手のゴム手、使い捨てゴム手(手が洗えないとき食べ物を扱う)		
<input type="checkbox"/> ○工具	【例】ペンチ、テープ、アルミホイール、ソーイングセット、スパナ、ペン、紙等		
<input type="checkbox"/> ○衣類	着替え以外にも、予備の靴、長靴、雨具等も準備しておくとうい。		

ハリケーンに備えて



ヒューストンに夏が訪れる6月からハリケーン・シーズンも始まりを告げます。毎年6月から11月がハリケーン・シーズンと言われており、大型ハリケーンが直撃した場合には甚大な被害を受ける可能性があり、水や電気といったライフラインが長期間に亘って機能しなくなる恐れがあります。ハリケーンは襲来を予測することが

困難な自然災害ではありますが、いざヒューストンが直撃された場合に備え、日頃から事前に十分な準備をしておくことが非常に大切になります。

ヒューストンでは2017年8月に上陸したハリケーン・ハービー（以下、「ハービー」）以降、大型ハリケーンによる大きな被害を受けることはありませんでしたが、今後もハービーと同じような災害に見舞われる可能性は常にあります。ハービーの名前は聞きになったことがあっても、実際に6年前にどのような被害があったのかご存じでない方もいらっしゃると思いますので、米国海洋大気庁（NOAA）の発表資料等を基に当時の被害状況やハービーの特徴について紹介します。

ハービーの被害総額は1,525億ドルに上り、米国の記録上2番目の損害規模となります。最大の被害額は2005年に南東部を襲ったハリケーン・カトリナで1,925億ドル、3番目がまだ記憶に新しい昨年フロリダを襲ったハリケーン・イアンで1,140億ドル、これらに2017年のハリケーン・マリアの1,098億ドル、2012年のハリケーン・サンディの846億ドルが続きます（金額はいずれも2023年換算）。尚、過去20年間で被害総額のトップ10に入るハリケーンが上陸した回数はフロリダ州が5回で最多、ルイジアナ州が3回、次いでテキサス州の2回となっています。

カトリナやイアン、マリアがハリケーンの強さで最大を意味するカテゴ

リー5で上陸したのに対し、ハービーが上陸した時の強さはカテゴリー4でした。カテゴリー5でないにもかかわらず大きな被害を出したのは、上陸後勢力を弱めながらも5日間に亘りハリケーンとして停滞し、1,500mmを超える米国観測史上最大となる降水量をもたらしたためです。この大雨により13万人と家屋13.5万軒が被災、1百万台の車が損壊し、103名の死者がでました。ヒューストンの一部地域でも降水量は1,200mmを超え、洪水によりヒューストンの1/3が水没しました。日本の年間平均降水量が約1,700mmですので、短期間に膨大な雨をもたらしたことが分かります。

このように各種の数字からハービーがいかに猛威を振ったかを想像することができますが、商工会では昨年自然災害に関する“備えあれば憂いなし”ウェビナーを開催し、ハービーで被災されたお二方の会員様から貴重な体験談をご講演頂き、実際に遭われた被害の様子や、自然災害に備えて日頃からどのような準備が必要となるのか、また災害が発生した際にはどのような対応をしなければならないのかといったことにつきお話し頂きました。ウェビナーの様子は商工会ホームページの「[安全・危機管理情報ページ](#)」のハリケーン情報にご講演の録画映像と資料を掲載していますのでご覧になれます。また、こちらのページにはその他にも、ハリケーン関連情報の入手先、具体的にどのような準備が必要か、ハービー体験談等が収められていますのでご参照頂ければと思います。今年もハリケーンの被害に遭うことがないように願っておりますが、自然災害ばかりは起こってしまうと避けることができません。例えハービーのような大型ハリケーンでなくても停電や断水といった被害は起こりえますので、ハリケーンが近付いてきた場合には飲料水・生活水や食料、携帯電話の充電器、洗剤が不要な紙コップや紙皿等の確保、車のガソリンを満タンにする等々、事前にしっかりと準備をして頂ければ幸いです。

（安全・危機管理特命理事 竹原 優）

商工会ホームページより

ヒューストンの
最新治安情報と
対策

寒波情報

ハリケーン情報



第574回 テキサス会「総領事杯」ゴルフ トーナメント

2023年5月21日（日）、商工会・日本人会共催の第574回テキサス会「総領事杯」ゴルフトーナメントをOakhurst Golf Clubにて開催しました。今回は、村林総領事ご夫妻、早坂商工会会長、武智日本人会会長をお迎えし、総勢89名がプレーを行いました。

プレーヤーは午前7時からの受付後、練習レンジにて各自でウォームアップを行い、午前8時半にショットガンスタートでトーナメントがスタートしました。ゴルフ日和の天候の中、22組に分かれてコースを回り、全参加者が午後2時頃無事にホールアウトできました。

トーナメントは今回も前回同様にダブルペリア方式で行いました。昼食後、村林総領事をお迎えし表彰式を行いました。男性の部では、久本様がグロス93、ネット70.2で優勝。女性の部では、Annoura様がグロス106、ネット74.8で優勝。ユースの部では、金子さんがグロス94、ネット73.6で優勝されました。

最後に、今回も、会員企業の皆様、日本人会からたくさんのご寄付を頂き大会を盛り上げて頂きましたことに、この場を借りて厚く御礼申し上げます。また、当日のスムーズな進行にご協力いただきました参加者の皆様、運営のサポートをくださった運輸サービス金融貿易部会のメンバーの方々へ心から感謝申し上げます。

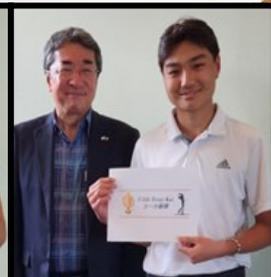
（運輸・サービス・金融・貿易部会
Pasona N A, Inc. 藍谷）



男性の部優勝者
久本様（右）



女性の部優勝者
Annoura様（右）



ユースの部優勝者
金子様（右）